

## 令和5年度（第45回）看護師卒後研修会募集要項

## 1. 目的

看護職として必要な知識や技術、態度等の基本的な臨床実践能力の修得に向けた研修を実施し、看護の向上に寄与することを目的とする。

## 2. 主催

福岡県医師会

## 3. プログラム

## ～看護教育研修～

演題・講師	内容
<p>「看護教育方法概論」</p> <p>第一薬科大学 看護学部 教授 長家 智子 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護教育とは</li> <li>2. 教育計画立案時の留意点</li> <li>3. 看護教育者の在り方</li> </ol>
<p>「これからの看護職育成と教える側の意識改革」</p> <p>東京医療保健大学 副学長 坂本 すが 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Z世代の若者の特性と看護教育の「歴史」</li> <li>2. 看護をとりまく社会の変化</li> <li>3. 看護とは何か～次世代看護職に求められる力～</li> <li>4. これからの看護教育と看護教育者の意識改革</li> </ol>
<p>「臨床判断能力を伸ばす教育」</p> <p>Office Kyo-Shien 代表 池西 静江 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床判断とは</li> <li>2. 臨床判断能力をどう育成するか</li> <li>3. 臨地実習指導での育成方法</li> </ol>
<p>「看護職を指導するための対象の理解と臨床場面で身につけたい「コーチング」と「ティーチング」の実際」</p> <p>GCS認定プロフェッショナルコーチ 東京医科大学医学部看護学科 非常勤講師 石村 珠美 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「コーチング」と「ティーチング」について</li> <li>2. 新人教育における重要なポイント（伝え方等）</li> <li>3. 臨地実習に行けなかったコロナ世代への指導方法</li> </ol>

## ～看護実践②研修～

演題・講師	内容
<p>「在宅移行支援におけるACPとは」</p> <p>社会福祉法人愛光園 老人保健施設相生 施設長・医師 西川 満則 先生 快護相談所 和び咲び 管理者 大城 京子 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ACPの基本</li> <li>2. 本人が大切にしていることをキャッチする</li> <li>3. 推定意思、対立、臨床倫理アプローチ</li> <li>4. つなぐバリア</li> </ol>
<p>「異常の早期発見に繋がる正確な アセスメントについて」</p> <p>地方独立行政法人北九州市立病院機構 北九州市立八幡病院 ICU師長 クリティカルケア認定看護師 山下 亮 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フィジカルアセスメント</li> <li>2. 呼吸のアセスメント</li> <li>3. 循環のアセスメント</li> <li>4. 意識のアセスメント</li> </ol>
<p>「医療・看護現場におけるICTの普及に伴う 情報リテラシーの重要性」</p> <p>産業医科大学病院 医療情報部 副部長 村上 玄樹 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報・データの利活用の効果と影響</li> <li>2. データ取扱いにおける注意点、病院におけるデータの収集方法</li> <li>3. 院内データの分析事例を元に、自身での病院での情報、データ利活用を想定する</li> </ol>
<p>「つらいなあと思ったとき～ストレスと人間関係～」</p> <p>福岡県立大学 理事 人間社会学部 教授 上野 行良 先生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストレスのコントロール法について</li> <li>2. ストレスと上手に付き合い、良好な人間関係を築くヒント</li> <li>3. もやもやした気持ちを増やす考え方・減らす考え方</li> </ol>

## 4. 研修構成

研修名	研修構成
看護教育研修	全4回／1コース（約120分×4回）
看護実践研修②	4回（約120分×4回）※1回ごとの申し込みが可能です。

## 5. 開催形式

オンデマンド配信（※受講決定時に専用URLをお知らせいたします。）

## 6. 配信期間

令和5年11月30日（木）～令和5年12月30日（土）まで

## 7. 定 員

なし

## 8. 対 象 者

研修名	対象者
看護教育研修	看護職員の育成や養成に携わる者（看護師長相当又は看護教育者）
看護実践研修②	専門職業人として新しい知識・技術の修得に務めたいと考えている者（特に新人看護職員）

## 9. 受 講 料

研修名	受講料
看護教育研修	1 施設 8,000 円 / 1 コース
看護実践研修②	1 施設 2,000 円 / 1 回

## 10. 申 込

(1) 受講を希望される施設は、QR コードまたは URL よりお申込みください。

申込フォーム URL : <https://onl.la/p4bJZAe>

※インターネットによる申込ができない場合、本会地域医療課 田(ちゃん)宛  
(TEL : 092-431-4564) にご連絡ください。



(2) 申込期限 令和5年11月2日(木)まで

※別紙の「オンデマンド配信研修利用に係る注意事項」の内容をお読み頂きご理解ご同意頂いた上でお申込みください。

## 11. 受講決定通知

(1) 申込期間終了後、順次、払込用紙を郵送いたしますので、同封の払込用紙にて期日内に受講料を送金いただき、本会にて入金確認後、11月下旬頃を目途に決定通知（動画のURLを記載）の送付を持って受講決定といたします。

(2) 受講料のお支払い手続完了後、受講施設側の都合によるキャンセルの受付（受講料の返金）はいたしませんのでご了承ください。

## 12. 資 料

受講決定通知と併せて、1施設につき1冊資料を送付いたします。

※資料データは本会ホームページ内「看護師卒後研修会専用ページ」に掲載いたしますのでご利用ください。（※受講決定時に改めてご案内いたします）

## 13. 受講証明書

受講終了後、本研修会に関するアンケート（受講施設及び受講者向け）へのご回答をもって受講の確認とさせていただきます。アンケート回答確認後、施設メールアドレス宛に受講証明書を送付いたします。